

令和6年度第2回広島県道徳教育研究協議会
実践報告及び協議「組織的・計画的に全教師で進める道徳教育」
第1分科会 「教育活動全体を通じて行う道徳教育」

カリキュラム・マネジメントによる道徳教育の充実に 向けた「道徳科学習プログラム」の活用



大竹市立小方小学校 道徳教育推進リーダー 西 涼子

小方学園 道徳教育重点目標

思いやりの心を育み、望ましい人間関係を築く

研究主題

道徳的行為をしようとする内面の
力を育てる道徳科の授業の在り方
～道徳的価値観を形成する発問づくりを通して～

研究の目的

目指す児童生徒像

じっくり考え、はっきり説明できる児童生徒
我慢強さ、利他性、協調性を身に付けた児童生徒

9年間を見通した
連続性のある指導

発達段階に応じた道徳的価値の理解

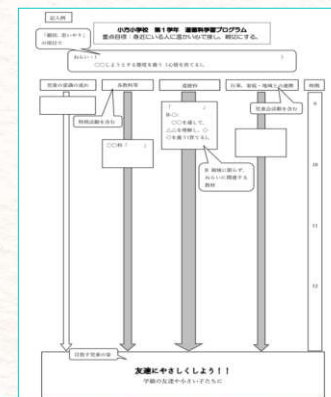
道徳的行為をしようとする
内面の力

1 カリキュラム・マネジメントの実際

- (1) 重点目標の明確化・共有
- (2) 道徳科学習プログラムの作成
- (3) 道徳科学習プログラムの実施

2 成果と今後に向けて

- (1) 意識調査の結果から
- (2) 成果
- (3) 今後に向けて



(1) 重点目標の明確化・共有

小中共通の重点内容項目に基づいて

小学校：「思いやり」の心を育み、望ましい人間関係を築く。
中学校：自他の生命を尊重し、思いやりの心を大切にし、
よりよい人間関係を築く。

キーワードは…

思いやりの心

(2) 道徳科学習プログラムの作成 (小中合同プロジェクトの活用)

小方学園「やさしさの輪を広げよう」プロジェクト
～「思いやりの心」をたがやそう～

小中交流を通して

白やぎさんプロジェクト

・相手のことを考えて書く
(相手が喜ぶこと、元気になること)
→思いが伝わるともっとがんばれる

いっしょにランチ

・小学生のためにつごう
(年下のためにできること)
・中学生のために運ぼう
(お兄さんお姉さんのためにできること)
→喜んでくれると自分もうれしいな

小中交流集会

・どうしたら楽しくできるかな? 仲良くできるかな?
(人に優しく)
→みんなの気持ちを考えて

年間計画への
位置づけ

内容項目

親切、思いやり(小学校)
思いやり、感謝(中学校)



(2) 道徳科学習プログラムの作成 (小中合同プロジェクトの活用)

白やぎさんプロジェクト

中学生と小学校1～3年生が
ペアになり、手紙のやりとりを行う
プロジェクト



(2) 道徳科学習プログラムの作成 (小中合同プロジェクトの活用)

いっしょにランチ

ペアの学級でランチルームで
給食を食べる活動



(3) 道徳科学習プログラムの実施

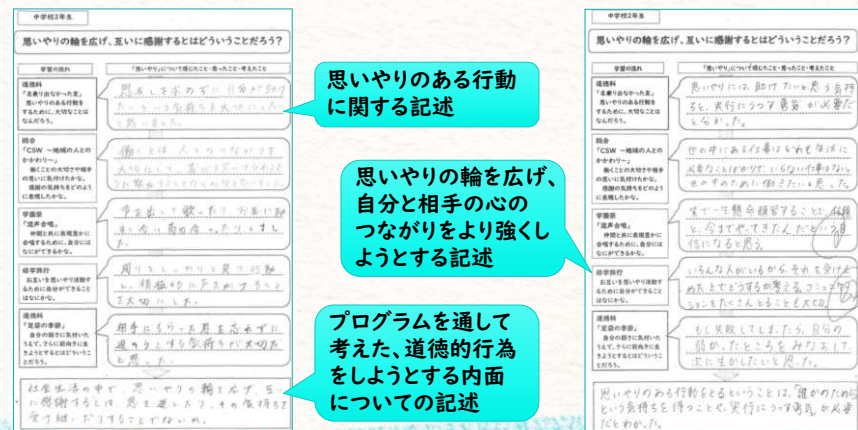
【児童生徒用振り返りシートの作成・活用】



掲示用振り返りシート

(3) 道徳科学習プログラムの実施

【児童生徒用振り返りシートによる児童生徒の変容】



(3) 道徳科学習プログラムの実施(研究授業)

【小学校1年生「学校のかえりみち」の実践】

中心発問や基本発問、補助発問は適切であったか。	○登場人物それぞれの嬉しそうな理由を考えさせたあと、「困っている人に親切にするとどんないいことがあるのだろう」と考えさせたことで、みんながよい気持ちになり、もっと親切にしたいようになることに気付かせることができた。 △なぜもっと親切にしたいくなるのか、もう一度踏み込んで考えさせるとよかった。	<u>道徳的行為をすることのよさについて考えを深めさせる発問や切り返しをすることで、道徳の実践意欲を高められる。</u>
道徳的行為をしようとする内面の力を育てる授業であったか。	○自分がこれまでに見たことのある親切を思い出し、その時の気持ちを考えさせたことにより、日常生活と結び付けて喜びを感じ、これからもっと親切にしようという思いをもたせることができた。 △困っている人がいたら他の人任せにするのではなく、自分も親切にするとよい気持ちになるということに気付けない児童がいた。	<u>自分の経験と結び付けて考えさせる発問により、道徳的価値の理解及び自己理解を深め、児童の内面に働きかけることができる。</u>

(3) 道徳科学習プログラムの実施(研究授業)

【中学校1年生「バスと赤ちゃん」の実践】

中心発問や基本発問、補助発問は適切であったか。	○中心発問を「最初に拍手をした人の思い」にしたことで、文面には書かれていない登場人物の考えを引き出すことができた。 ○「運転手」と「最初に拍手をした人」の共通点を考えさせることで、思いやりを能動的態度で示すことの大切さについて気付かせることができた。	<u>生徒の実態やねらいに応じて分かりやすい言葉を使って発問すると、道徳的価値観を形成しやすい。</u>
道徳的行為をしようとする内面の力を育てる授業であったか。	○勇気をもって行動に移すことで、「他の人も勇気が出やすくなる。」「安心材料になる。」などの記述が見られ、そうした行為がよりよい社会につながることに気付く生徒が見られた。 △2人の共通点は「思いやりをもっている」ということに留まる生徒もいた。 △思いやりを行動に移すことで「達成感がある」などの記述は見られたが、周囲に与える影響にまでは深めることができていない部分もあった。	<u>自分事として考えさせ、道徳的行為をしようとする生徒の内面に働きかける発問をすることで、内面の力が育つ。</u>

(3) 道徳科学習プログラムの実施(研究授業)

【小学校6年生「心づかいと思いやり」の実践】

教材で深めた考えをもとに、
自分がこれまでしてきた行
動を振り返り、価値付ける
記述

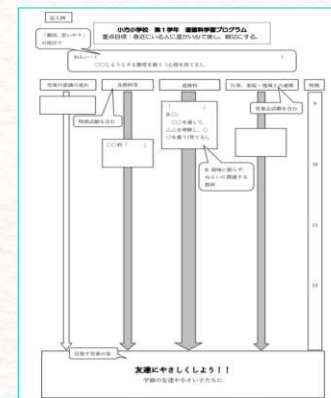
見返りや周りの視線を気に
することなく、素直に困っ
ている人を助けたいと思
いから、相手の立場に立ち、
何ができるかを考え、行動
に移そうとする力(内面の
力)に関する記述



児童の道徳ノート

1 カリキュラム・マネジメントの実際

- (1) 重点目標の明確化・共有
- (2) 道徳科学習プログラムの作成
- (3) 道徳科学習プログラムの実施



2 成果と今後に向けて

- (1) 意識調査の結果から
- (2) 成果
- (3) 今後に向けて

2 成果と今後に向けて

(1) 意識調査の結果から

質問項目	時期	肯定(小学校)	肯定(中学校)
人が困っている時には、進んで 助けている(相手のことを思い やり、親切にしている)	令和6年12月	92%	96%
	令和5年4月	92%	97%
よいことと悪いことを判断し、 自分が正しいと思ったことを 行っている	令和6年12月	91%	98%
	令和5年4月	90%	95%
道徳科の授業で勉強したことを 自分の生活にいかしている	令和6年12月	90%	94%
	令和5年4月	86%	85%

2 成果と今後に向けて

(2) 成果

- ・教師の指導力向上(発問の工夫、精選の積み重ね)
- ・道徳的行動をしようとする児童生徒の増加

(3) 今後に向けて

- ・9年間の発達段階をより意識した、学校教育活動全体を通した指導





組織的・計画的に全教師で進める道徳教育

第1分科会

「教育活動全体を通じて行う道徳教育」

海田町立海田中学校

道徳教育推進リーダー 菊池 圭祐

1. 海田町の目指す子ども像

2. 要となる道徳科の授業改善

3. 共通認識をもつための取組

4. 教育活動全体を通じて行う道徳教育に向けて

5. 成果と課題

1. 海田町の目指す子供像

【目指す子供像】

自己肯定感を高め、自信をもって学習に取り組んだり、学校や地域での生活を送ったりできる。

1. 海田町の目指す子供像

海田町の児童生徒の実態

「自分には、よいところがある」に対する回答

	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
小学校 (海田南小、海田東小 海田小、海田西小)	50.7%	34.9%	11.0%	3.4%
中学校 (海田中、海田西中)	32.9%	47.3%	14.0%	4.5%

(令和5年度全国学力・学習状況調査より)

2. 要となる道徳科の授業改善

- ① 話し合いの視点を明確にする
- ② 気持ちを可視化する
- ③ 自分の考えを書く時間を確保する

5

2. 要となる道徳科の授業改善

① 話し合いの視点を明確にする

- ・導入で問題意識をもたせ、教材を通して考えること（話し合うこと）を明確にする。
- ・多面的・多角的に考えを広げ深める発問を工夫する。
- ・話し合ったことを振り返りへつなげる（教材を通して考えたことを基に自分の考えを再構築）。

6

2. 要となる道徳科の授業改善

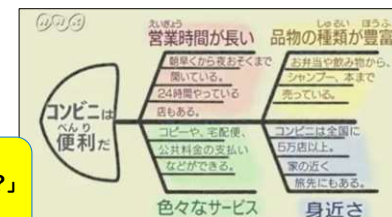
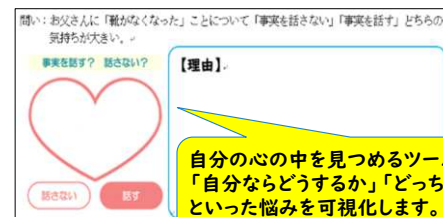
② 気持ちを可視化する

- ・自分の考えを書かせやすくする（もたせる）。
- ・考えを共有、伝えやすくする（発表しにくい児童生徒の意見を生かす）。
- ・話し合う時間を確保する（書いたことの発表会で終わらない）。
- ・教師が意図をもって考えを深める（教師が児童生徒の短時間で把握）。

2. 要となる道徳科の授業改善

② 気持ちを可視化する

・ツールの活用



【参考】 SEED なやみのタネ | NHK for School GIGA教材

<https://www.nhk.or.jp/school/doutoku/seed/origin/giga/index.html>

8

2. 要となる道徳科の授業改善

③ 自分の考えを書く時間を確保する

- ・自分の考えを深めたり価値を自覚させたりする。
- ・気持ちの可視化、少数意見を生かして学びを深める。
- ・机間指導等の個への支援を行う。

9

3. 共通認識をもつための取組（研究体制、目的の確認）



年度初めの校内研修
→ 目指す姿、研究の柱等



連携校（南小、東小）との連携
→ 研究目的、研究体制等

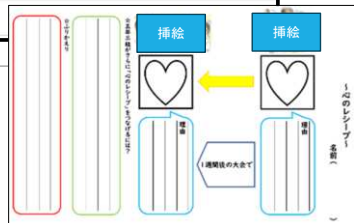
	T1 (担任)	T2 (菊池)
進行・発問	○	
板書		○
範読	○	○
説話	○	○

担任と道徳教育推進リーダーの役割分担

10

3. 共通認識をもつための取組（日々の連携（Googleドライブ）

Googleドライブを活用した授業案の連携



- ～7月12日（金）よろしくお願いいたします。～
- ① 導入で「心のレシーブ」の言葉の意味を考えさせます。
「レシーブ」とは？
 - ② 範読の前に、写真の表情に注目させて聞かせる。（しかもめっか笑顔に）
 - ③ ワークシートの心の变化に色を塗らせる。（チームメイトの心のまとも度）
 - ④ 5年3組での実践を考えさせる。「心のレシーブ」（お互いを支え合う行動を増やすには？）
 - ⑤ 最後に中学校での「心のレシーブ」（お互いを支え合う場面）についての話をしていたらと思います。

11

3. 共通認識をもつための取組（授業づくりのポイント）

大学講師を招いての校内研修（模擬授業）

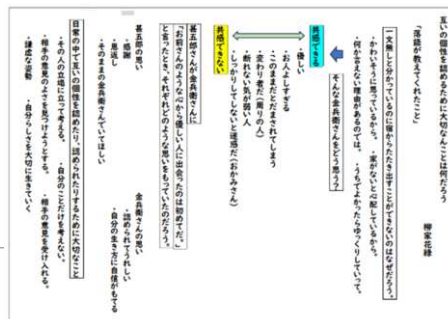


内容項目、道徳的価値の分析
思考の流れを意識した授業づくり

12

3. 共通認識をもつための取組（授業づくりを深める）

校内研修で学んだことの整理・共有



内容項目、道徳的価値の分析
思考の流れを意識した授業づくり（発問）

13

3. 共通認識をもつための取組（日々の連携（打合せ））

授業者と事前の打ち合わせ（学年会等）・事後の振り返り

授業の流れや発問（生徒の実態を基にねらいを明確にする）、
他の先生の授業の情報交流等を行ったりしています。



14

4. 道徳科と他の教科等の学習を繋げる取組（配列の工夫）

道徳科の配列の工夫（学年会での協議）

生徒の様子等の実態、行事や他の学習（体験）との関わりを考え、
生徒が必然性をもって授業に取り組めるように、配列を工夫する。

定期テストに向けての頑張り
やできなかった経験を次に
繋げられないかな。

個性の伸長や節度・節制の
内容項目の道徳をやって
みましょうか。

命に関わる授業を2回続けて
行うよりも、他の学習と繋がった
方が学ぶ意義を感じやすいのでは。

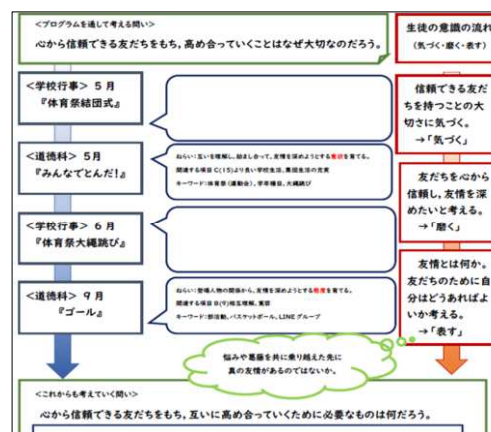
内容項目の繋がりを考えて、
計画的に変更していきましょう。

15

4. 道徳科と他の教科等の学習を繋げる取組（教育活動の繋がり）

道徳プログラムの作成にあたって

行事で実践したこと（体験や経験）を道徳科
の学習で生かすことで、自分との関わりで考え
を深める。
道徳科で考えたことが日常生活（行事等）で
生かされていく。
また、日常生活で生かされたこと等を道徳科
の学習で振り返り、繋げて考えることで深い学
びに繋げる。



16

4. 道徳科と他の教科等の学習を繋げる取組（教育活動の繋がり）

道徳プログラムの良さ

- ・教師、生徒が共通認識をもって取り組むことができる。
- ・生徒自身が主体的に、学びを繋げて考え、道徳科で学ぶ意義を感じることができる。
- ・教師が生徒の思考の流れを評価し、学習を補ったり、認め励ます指導に生かすことができる。

5. 成果と今後に向けて(アンケート)

18

(令和6年度 生徒意識調査 肯定的回答の割合)

5. 成果と今後に向けて（生徒の振り返り）

2 今学期(今期)をふり返って、道徳科の授業で学んでよかったことはどのようなことだろう。

日常生活のことからふり返って、「ここ共感できるな」「この人はこのときにそう思うんだ!」など、
いつもとは違う視点で客観的に考えられるようになって、学んでよかったと思いました。

多面的、多角的な
思考

多面的、多角的な
思考

上の3つのように、新しいこと、大切なこと、苦しいこと、
うらなこと、努力がいることなどについて、深く考えて、物や人
の違う見方、違う考え方を、持つことができてよかった。
あとは平和学習で平和の大切さをあらためて知ることができた。

5. 成果と今後に向けて（生徒の振り返り）

25の「どうせ無理」に負けないです。理由は、その学習をしたあと今まで
こけた逆立ちができてみないと分かんないと思い、してみる
と逆立ちが少し足があるようになったり、ほかにも、できてみないと分かん
ないことがこの学習がよくなり知れあがります。

25の「どうせ無理」に負けないです。理由は、その学習をしたあと今まで
こなかった逆立ちができてみないところがないと思い、してみると
逆立ちが少し足があるようになったり、ほかにも、できてみないところ
がないところが学習がよくなりました。

2 2学期をふり返って、道徳科の授業で学んでよかったことはどのようなことだろう。

自分の生き方について
考えたこと

自分の生き方について
考えたこと

自分にとって スポーツなどで走り続けることが好き、それと別に実際に
目標と達成するために努力を続けている人がいると知り、自分を
がんばろうと思えろ、なにをしたら未来はどのようになどが起きるか
分からないうちに努力として頑張る、今自分がやらべきことに一生懸命してきている。

5. 成果と今後について(アンケート)

「自分にはよいところがあると思う」
に対する肯定的な回答

年度初	87.6%
年度末	86.6%

(令和6年度 生徒意識調査 肯定的回答の割合)

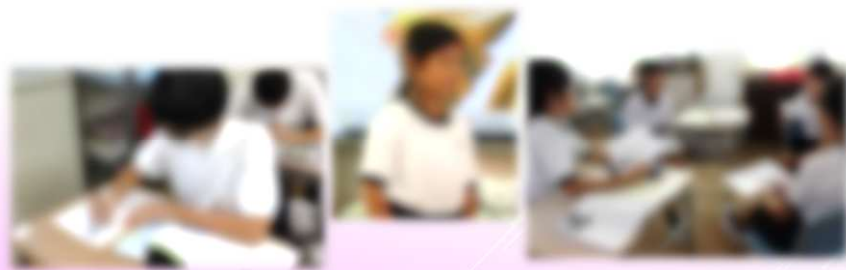
21

4. 成果と今後に向けて

- ・授業前後の打ち合わせの充実、発問の工夫の研究を深めることで、深い学びとしていく。
- ・道徳科と他の教科等の学習がより繋がるように、配列の工夫やプログラムの改善を進める。
- ・連携校との連携の仕方を改善し、中学校区としてより研究を深めていく。

22

道徳性を育む カリキュラム・マネジメントの実際



熊野町立熊野第二小学校 宇田 美樹

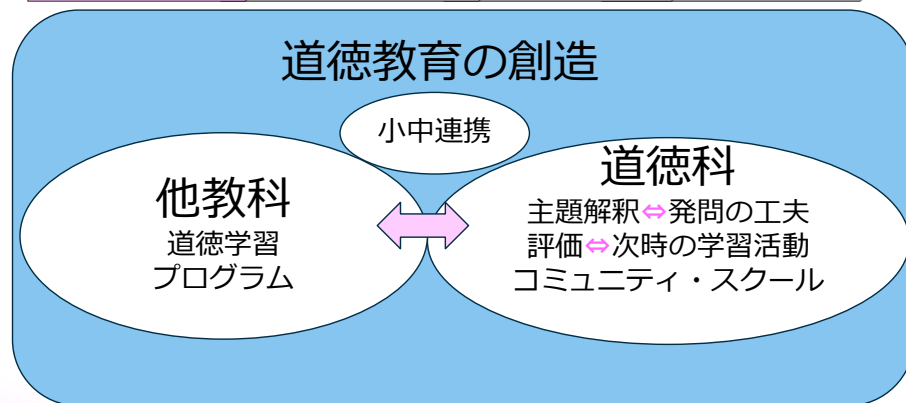
I 研究の概要

- (1) 主題設定の理由
- (2) 道徳科と他教科等との繋がり
を高める取組

II 結果と考察

III 今後に向けて

I (1)主題設定の理由 I (2)道徳科と他教科等
との繋がりをもつ取組 II 結果と考察 III 今後に向けて



【令和6年度 研究主題】

自己の生き方についての考えを深め、
よりよく生きようとする児童生徒の育成
－繋がりに着目した道徳教育の創造（2年次）－

I (1)主題設定の理由 I (2)道徳科と他教科等
との繋がりをもつ取組 II 結果と考察 III 今後に向けて

【研究内容】

○道徳科の充実に向けた繋がりをもつ取組

- ①主題解釈 ②発問の工夫 ③道徳科の評価
- ④コミュニティ・スクールの仕組みを生かした地域資源の活用

○道徳科と他教科等との繋がりをもつ取組

- ⑤道徳学習プログラム ⑥道徳教育の評価
- ⑦コミュニティ・スクールの仕組みを生かした地域資源の活用

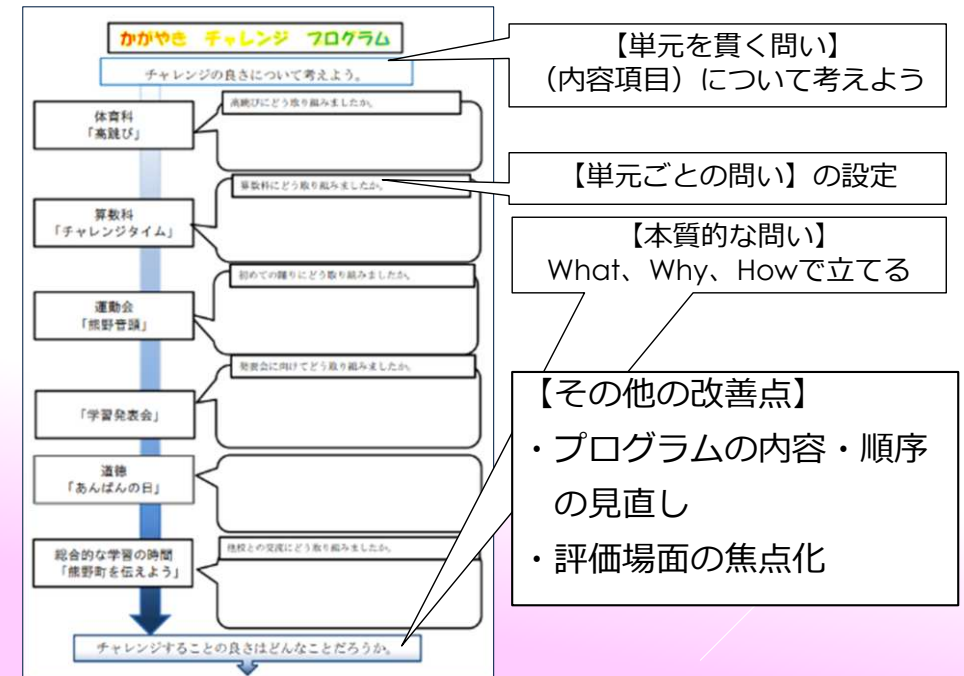
「教科横断的な視点」
「社会や地域との繋がり」等

道徳科と他教科等との繋がりを高める取組

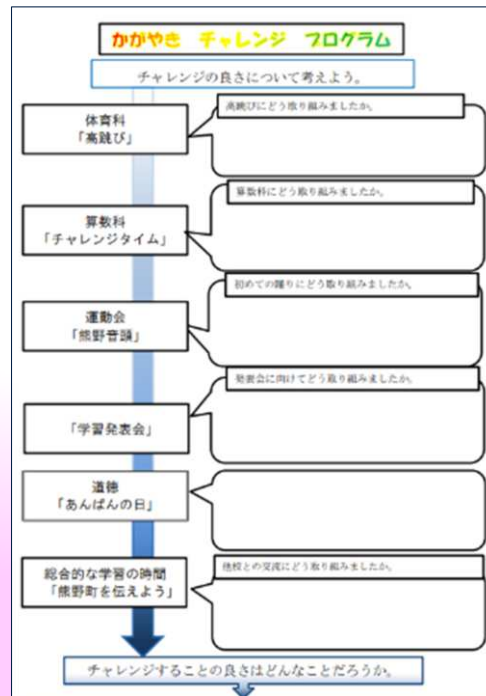
道徳学習プログラム



道徳学習プログラム（改善点）



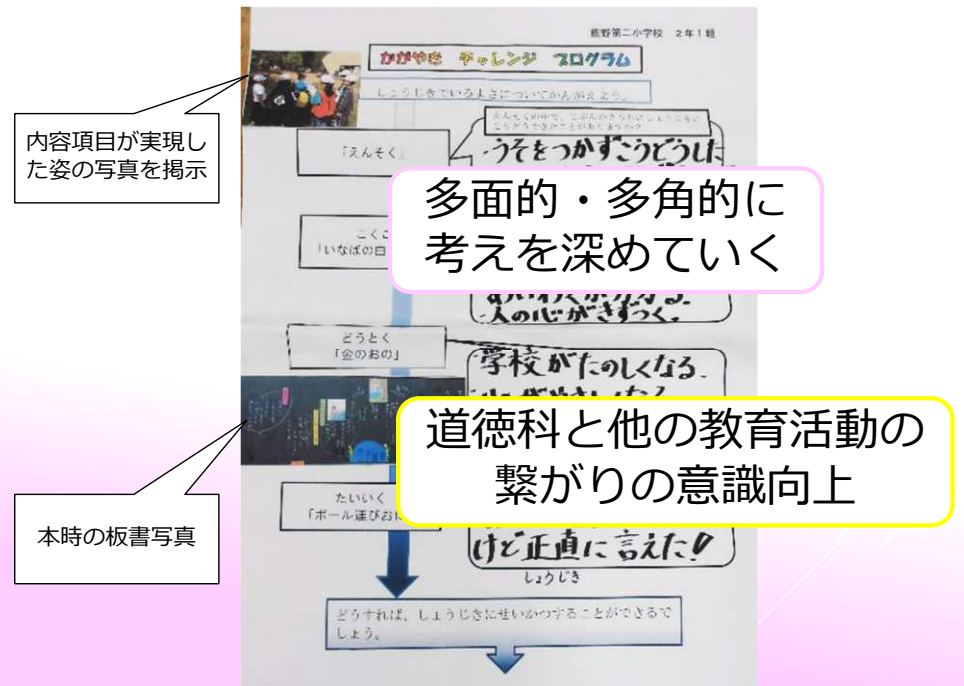
道徳学習プログラム（掲示と配布）



拡大版を
教室に掲示

児童用
ワークシート

道徳学習プログラム（目的）



学習過程の見える化、共有化

【教師】

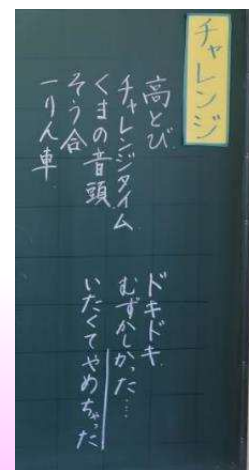
- ・ 繋がりを生かした授業づくり
- ・ 児童の学びを評価し、認め励ます指導の充実 等

【児童生徒】

- ・ 自らの学びを主体的にする
- ・ 学習を振り返り、自分の良さや成長を実感 等

＜導入＞（第3学年）

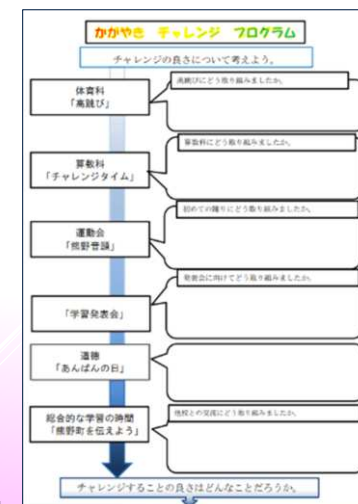
学習経験を生かした導入（問題意識をもたせる）



チャレンジした時の気持ち

→チャレンジし続けるために大切なこと

体育科、総合的な学習の時間



＜展開＞（第5学年）

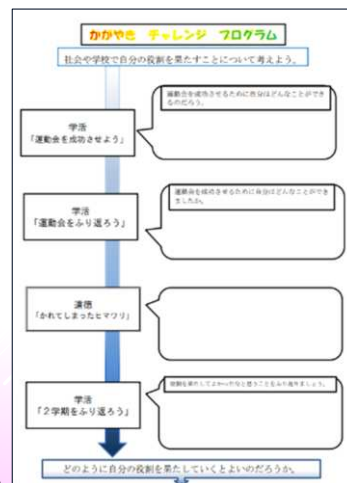
学習経験と繋げて考えさせる発問（切り返しの工夫）

運動会の係活動、委員会活動



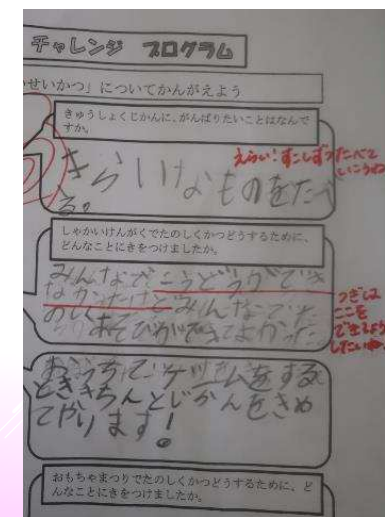
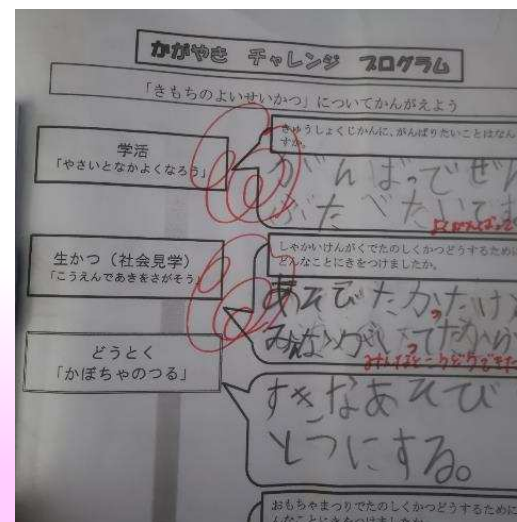
運動会の係活動や委員会の仕事

→責任をもって役割を果たす難しさ、良さ



＜終末＞（第1学年）

経験と繋げて自身の生活（生き方）を考えさせる



道徳学習プログラム（連携校での実践）

熊野第四小学校

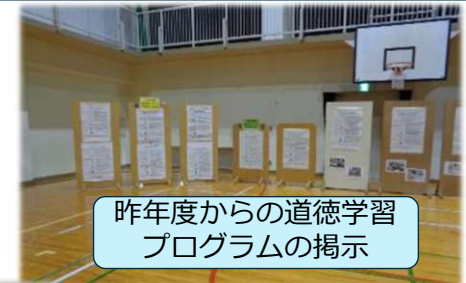


熊野東中学校



成果の普及、連携校との繋がり（研究）を深める取組

第38回広島県小学校道徳教育研究大会（安芸大会）
道徳教育推進拠点地域事業 熊野東中学校区道徳教育公開研究会



昨年度からの道徳学習
プログラムの掲示



熊野東中学校 1年3組



熊野第四小学校 3年1組

I (1) 主題設定の理由

I (2) 道徳科と他教科等
との繋がりを高める取組

II 結果と考察

III 今後に向けて

道徳科と他教科等との繋がりを高める取組

コミュニティ・スクールの仕組みを生かした
地域資源の活用



I (1) 主題設定の理由

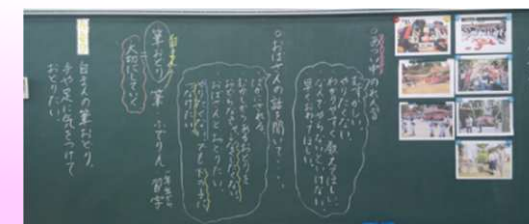
I (2) 道徳科と他教科等
との繋がりを高める取組

II 結果と考察

III 今後に向けて

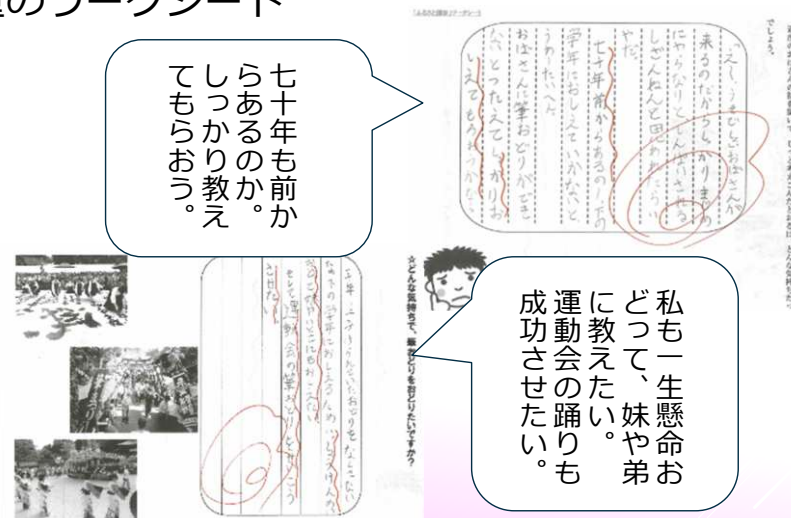
教材名 筆おどり

主題名 ふるさとを愛する心 C- (1 6)



筆踊りを地域の方に教えてもらう体験、地域教材を用いた道徳科の学習

児童のワークシート



筆踊りを地域の方に教えてもらう体験、地域教材を用いた道徳科の学習→郷土の伝統と文化を大切にすることについて、地域の方の想いや体験と結び付けて、考えを深める。

継続的な取組に向けた計画の改善

令和6年度 道徳教育の全体計画～全教育活動との関連（指導内容）				
熊野町立熊野第二小学校 道徳教育の重点目標		①学校の教育活動全体を通じて、児童の精神と生命に対する意識の涵養をよりよき社会のための基盤となる道徳性。 ②地域社会の発展と持続可能性をよりよき社会のために、児童の心と行動を育てる。 ③自然環境の保全、地域社会の発展をよりよき社会のために、児童の心と行動を育てる。		
指導内容	道徳	学校行事	特別活動	
			学級活動	児童会活動・クラブ活動
C 主として集団や社会との関わりに関する	C 規則の尊重	11 作りのから（7月） 運動会（10月）	学級活動（10月） 遠足の準備（9月）	ふるさと熊野 熊野町立熊野第二小学校
	C 公正、公平、社会正義	17 みきさんのえが（10月）	遠足の準備（9月）	
	C 勤労、公共の精神	12 ごみステーション（7月） 18 教えて！なんでもそうなん（10月）	運動会（10月） 運動会の準備（9月）	
	C 家族愛、家庭生活の充実	23 母の日にないお母さんへ（11月） 20 母の日のおぼろ（11月）	運動会（10月） 運動会の準備（9月）	
	C よりよい学校生活、集団生活の充実	7 みんなの学校生活（10月） 人学式（4月） 運動会（10月） 学芸会（11月） 新1年生オリエンテーション（3月） 卒業式（3月）	運動会（10月） 学芸会（11月） 新1年生オリエンテーション（3月） 卒業式（3月）	
	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	4 伝統文化の宝（10月） ふるさと熊野の宝（10月）	運動会（10月） 運動会の準備（9月）	
	C 国際理解、国際親善	21 世界の国（11月）	運動会（10月） 運動会の準備（9月）	

社会正義について考えよう

視点② 行動観察記録 より

単元名等	A 児	B 児	C 児
社会科 誰もが気持ちよく安心して生活するための社会の仕組みや考え方を知り、道徳的価値への理解を深めている姿	「意味がない。」 発言もあったが、 大きさを知り、興味もあった。	社会正義の実現のための政治の役割についてその重要性に気付いていた。（下線②）	政治の仕組みや役割などに始めは興味をもてずにいたが、自分たちの身近にあることが徐々に分かり、興味をもっていた。（下線④）
「税金が使われている施設について知り、みんなの協力によって、みんなの生活が豊かになる姿が見られた。（下線①）	税金が使われている施設について知り、みんなの協力によって、みんなの生活が豊かになる姿が見られた。（下線①）	一億円を手を持った際には、「一億円ってこんなに多いんだ。」と実感し、税金の使われ方の興味を深めていた。	税金が使われている施設について知り、みんなの協力によって、みんなの生活が豊かになる姿が見られた。（下線①）
体育 「ソフトボール」	チームがより良いプレーができるように声掛けをしたり、作戦を工夫したりする姿が見られた。	相手チームの良い動きから自分のチームのウィークポイントを見つけ、より良いプレーを考えていた。（下線③）	自分たちの生活の中で、みんなが楽しく学習するために必要なことを考え、実践しようとする姿

検証の視点

①道徳科の充実に向けた繋がりを高める取組は、自己の生き方について考えを深め、よりよく生きようとする児童生徒の育成に有効だったか。

②道徳科と他教科等との繋がりを高める取組は、自己の生き方について考えを深め、よりよく生きようとする児童生徒の育成に有効だったか。

意識調査

抽出児童行動観察

視点② かがやきチャレンジプログラム（児童記述）より

社会正義について考えよう

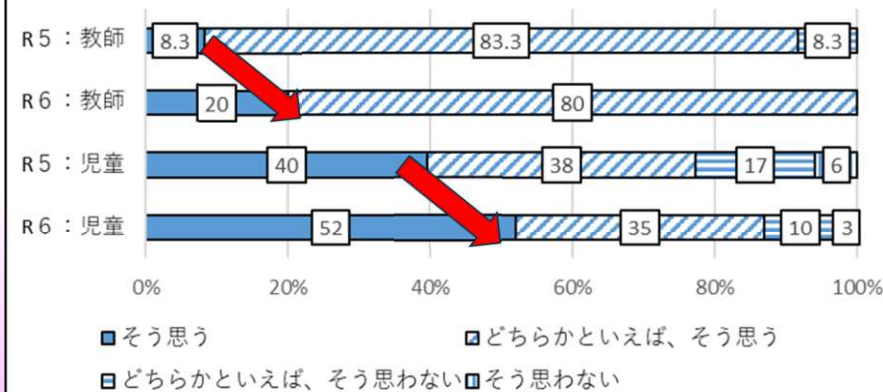
社会科
政治の働きを生かしてみんなで過ごしやすい社会をつくっていることに気付く。

社会 「わたしたちの」	「できることや、苦しんでいなくていいように、誰かが変えなければならないように」	「でも一人も残さず、願いを叶えたりすること。(下線⑤) 不安や悩みを自由に打ち明けることができる社会にすること。」	「国民が、幸せに暮らす。」
社会科 政治の働きを生かしてみんなで過ごしやすい社会をつくっていることに気付く。	「(下線⑥) ちの字費が自分たちでなくなってしまうし、で協力して払っていたら、良い街になったし、しかも、みんなが住める良い社会になる。」	「また税金がないと、警察、消防などが有料になり、逆に自分達にとって不便になることがある。それに、公園などの税金で作られた公共施設がなくなり、いろいろな世代の人にとっても不便になる。だから、税金をちゃんと納めて、いろいろな人にとって安心で便利な社会にしていけることがとても大事。(下線⑦)」	「今日の税金の話を聞いて、税金がないと公園とか、違うものに変ったり、生活が苦しい人が出たりするということがわかりました。そして、公共の施設などがなくなったりするし日本中のみんなが協力しなくなるから、税を納めました。」
体育 「ソフトバレーボール」	「(下線⑧) から税金が必要になる。」	「チームの人や、クラスの人達と試合をして、どこがだめだったかを話し合い、次の試合に活かせるようにルールを変更、作戦も変更することができた。作戦変更では、チームで改善点を話し合っ、(下線⑨) 5分以上話し合うことができました。」	「チームのみんなと声掛けをしたら、コートの中で固まらないうちに、チームのみんなが話し合いながら勝てるようにプレーをしていきたいです。(下線⑩)」

体育科
身近な生活の中で、課題を解決するための話し合いの良さに気付く。

視点② 意識調査アンケート結果（教師、児童）より

（児童生徒が）道徳科の授業で勉強したことを自分の生活に生かしている



今後に向けて

- ①かがやきチャレンジプログラムの改善
- ②道徳科の授業内、および道徳科と他教科等を繋げる評価の充実
- ③道徳科における地域資源のさらなる活用

- 【今後に向けて】
- かがやきチャレンジプログラムの改善
- ①プログラムの実施期間
1ヵ月程度を目安とする。

児童の思考の深まり
が途切れないように

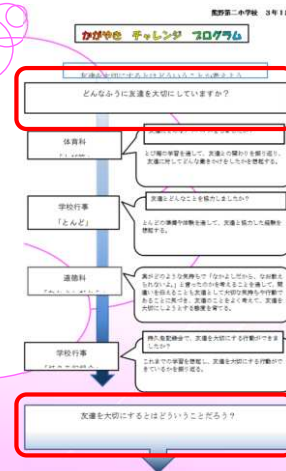


【今後に向けて】

かがやきチャレンジプログラムの改善

②プログラム実施前後の児童の姿を明記

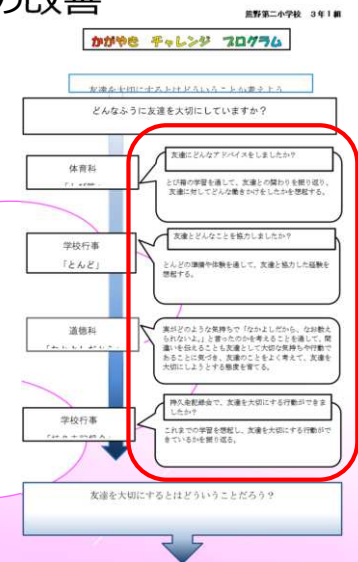
児童→プログラムを通して成長を実感

教師→目指す姿を明確にすることで
教師の指導の意図を明確にする
(プログラムの内容の精選、
認め励ます指導の充実)

【今後に向けて】

かがやきチャレンジプログラムの改善

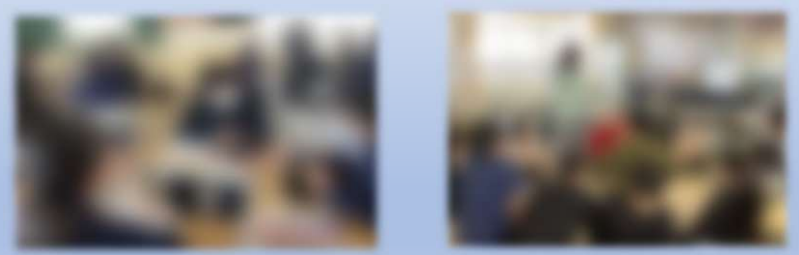
③学習活動のねらいを明記

道徳科・他教科等のねらいを明記
→道徳学習プログラムの繋がりを
意識

ご清聴 ありがとうございました

令和6年度 第2回広島県道徳教育研究協議会
組織的・計画的に全教師で進める道徳教育

「主体的・対話的で深い学び」のある授業



呉市立広南小学校 山崎 聖子

研究経過報告の流れ

- 1 研究主題の背景
- 2 研究主題
- 3 研究の内容
- 4 成果とこれからの方向性

1 研究主題の背景

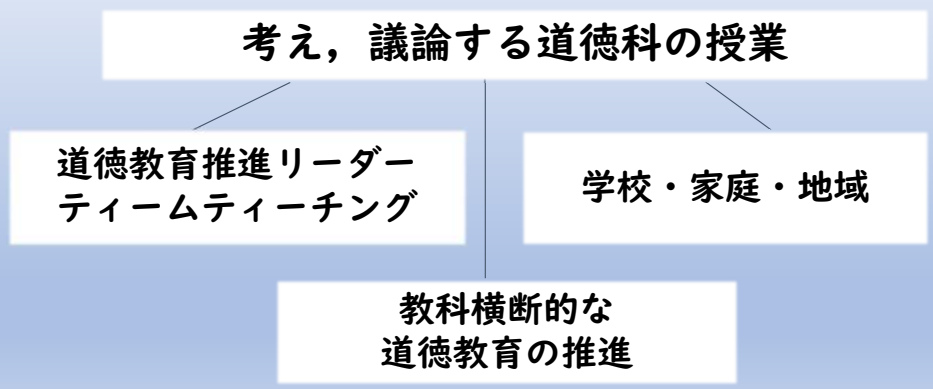
(1) 児童、生徒の実態と課題

R5年度道徳教育推進拠点事業に係る児童生徒等の意識調査（5月）

	質問項目	小学生(%)	中学生(%)
①	道徳科の勉強は好きだ	90.9	83.3
②	道徳科の勉強はためになると思う	94.8	98.1
③	道徳科の授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている	84.4	98.1
④	道徳科の授業では、自分のことを振り返りながら考えている	87.0	88.9
⑤	道徳科の授業で勉強したことを、自分の生活にいかしている	81.8	81.5

1 研究主題の背景

(2) 主題設定の背景



2 研究主題

「Society5.0を生きる資質・能力の育成」

～**主体的**に考え、議論し、

自己の生き方を考える道徳科の授業づくりを通して～

自分ごととして考える

→自分だったらどうするだろう。

→これまでの自分はどうかっただろうか。

→自分の生活にいかしていこう。

3 研究の内容

(1) **主体的に考えるための工夫**

(2) 考え、議論するための工夫

(3) 自己を振り返るための工夫

(4) 学びをいかすための工夫

3 研究の内容 (1) 主体的に考えるための工夫

①課題提示（導入）の工夫



アンケートと児童の実態の比較

小学校第3学年「黄色いかさ」（規則の尊重）

みんなが使うものがあることで便利ははずなのに
困ることがあるのはどうしてだろう？

3 研究の内容 (1) 主体的に考えるための工夫

①課題提示（導入）の工夫

実際起こりそうな
葛藤場面の提示



決断に迷ったとき、何を大切にしたらよいのだろう。

小学校第6学年「手品師」（正直、誠実）

3 研究の内容 (1) 主体的に考えるための工夫

①課題提示（導入）の工夫

教材を事前に読ませる
→感想を用いての話し合い

いじめってほんの些細なことからどんどん広がっていきものなんじゃないかな。

大きい海ならいいのに、メジナはどうして狭い水槽の中で一匹をいじめるんだろう。

生徒の感想

意図的指名とねらいの焦点化

いじめのない集団にするためには・・・。

中学校第1学年「さかなのなみだ」（公正、公平、社会主義）



3 研究の内容 (1) 主体的に考えるための工夫

②教材提示の工夫

具体物の活用
→自分とのかかわりで
考えやすくする。



小学校第5学年「くずれ落ちた段ボール箱」（親切、思いやり）

3 研究の内容 (1) 主体的に考えるための工夫

②教材提示の工夫

手品師

男の子



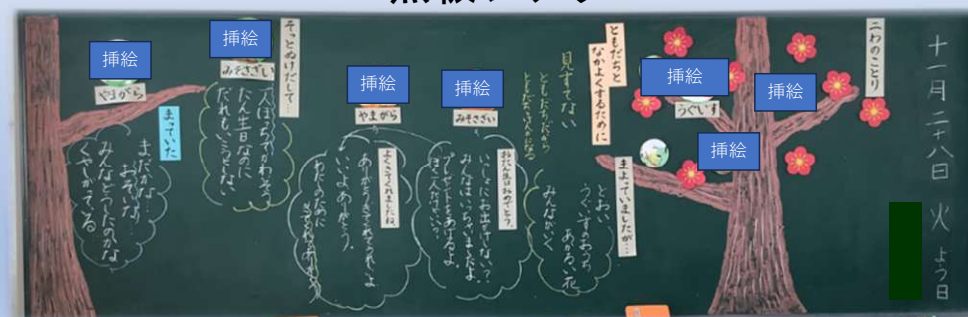
TTによる役割読み
→登場人物の状況の把握

小学校第6学年「手品師」（正直、誠実）

3 研究の内容 (1) 主体的に考えるための工夫

②教材提示の工夫

黒板シアター



小学校第1学年「二わのことり」（親切、思いやり）

3 研究の内容 (2) 考え、議論するための工夫

①議論する場の設定の工夫

→机の配置はコの字型



3 研究の内容 (2) 考え、議論するための工夫

①議論する場の設定の工夫

→対話の形式

→話し方の指導（顔を見て話す、認め合う聞き方）



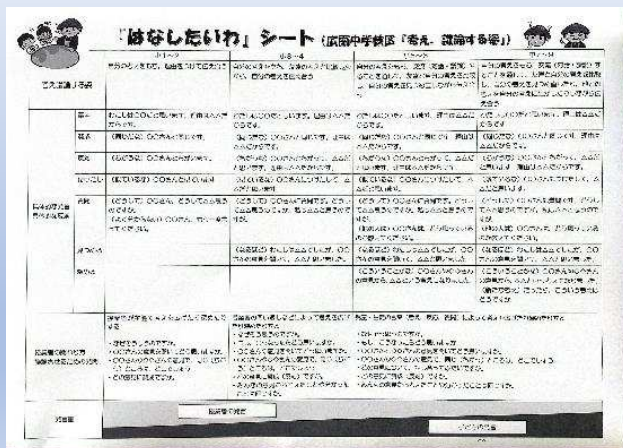
3 研究の内容 (2) 考え、議論するための工夫

①議論する場の設定の工夫

めざす議論する姿

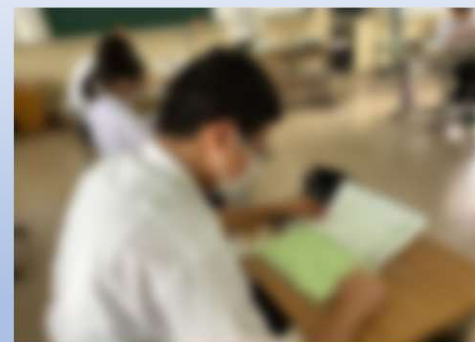


「はなしたいわ」
シートの作成



3 研究の内容 (2) 考え、議論するための工夫

①議論する場の設定の工夫



「はなしたいわ」シートの活用



話し合う力の育成

3 研究の内容 (2) 考え、議論するための工夫

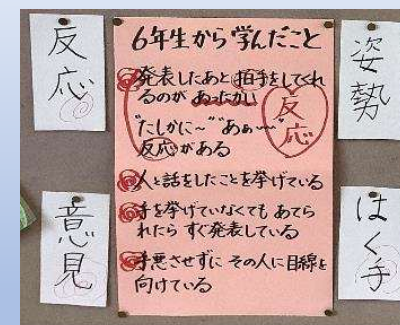
①議論する場の設定の工夫



話し合う力の育成

3 研究の内容 (2) 考え、議論するための工夫

①議論する場の設定の工夫



6年生の授業を参観する5年生

6年生の姿から学んだこと

上級生から学ぶ場の設定

3 研究の内容 (2) 考え、議論するための工夫

②自分の考えをもたせる工夫



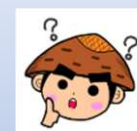
ICTの活用



ネームプレートの活用

3 研究の内容 (2) 考え、議論するための工夫

③発問の精選



→考えたくなる問い
→新しい学びは何か
※ねらいにせまる発問

段 位 (分)	1 グループトーク 1 全体交流	もしよ。 黄色「やらなければ良かった」 ・悔しい。腹が立つ。 ・なんで怒られないといけないのか。 ・自分が怒るように見られるのは嫌だ。 ・悔しいのは私じゃない。 ・せっかく手伝わったのに、なんで怒られないといけないのか。 黄色「やって良かった」 ・怒られたのは嫌だけど、おばあさんが喜んでくれたから。 ・おばあさんやみんなの役に立てたから。	国、家庭で考えさせたい。自分の考えを再構築できるようにする。 ・積極的な行為が否定されてやりきれないと思う児童の気持ちに共感しながら、認めてもらえないと自分のやったことが間違だったと思ってしまう心の弱さに気付かせる。 ・良かったと思う気持ちがあったとしたらそれはなぜか考えさせる。
---------------	---------------------------	--	---

中心発問

①校長先生の話を聞いた「わたし」はどんなことを思ったでしょう。	校長先生は、なぜかでお話したのに触れ、周りの人にも温かい気持ちで広がっていることに気付かせる。
②校長先生に褒められて嬉しいな。	校長先生は、なぜかでお話したのに触れ、周りの人にも温かい気持ちで広がっていることに気付かせる。
③店員さんが分かってくれてよかった。	校長先生は、なぜかでお話したのに触れ、周りの人にも温かい気持ちで広がっていることに気付かせる。
④やっぱり良いことって随分あるんだ。	校長先生は、なぜかでお話したのに触れ、周りの人にも温かい気持ちで広がっていることに気付かせる。
⑤あの時お手伝いをしなかったな。	校長先生は、なぜかでお話したのに触れ、周りの人にも温かい気持ちで広がっていることに気付かせる。
⑥これからも困っている人がいてほしいな。	校長先生は、なぜかでお話したのに触れ、周りの人にも温かい気持ちで広がっていることに気付かせる。

補助発問
(深める発問)

3 研究の内容 (3) 自己を振り返るための工夫

①振り返る視点の焦点化

ふりかえりの視点

○今日の学習でどんなことが分かったか。これまでの自分は
どうだったか。これからの生活にどういかしていくか。

○今日の学習でどんなことが分かったか。友達の考えを聞
いてどんなことを考えたか。

○今日の学習で一番心に（印象に）残ったことはどんなこ
とか。

○今日の学習でさらに疑問に思ったことはどんなことか。

③ 道徳科の授業では、自分のことを振り返りな
がら考えている。

④ 道徳科の授業では、友達と話し合うなどして、
自分の考えを深めたり、広げたりしている。

⑤ 道徳科の授業で勉強したことを、自分の生活
にいかしている。

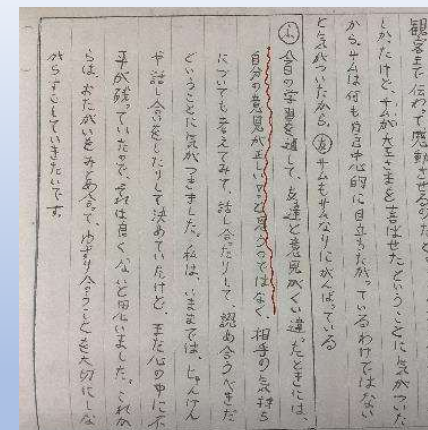
「ふりかえりの視点」の活用、時間の確保

3 研究の内容 (3) 自己を振り返るための工夫

①振り返る視点の焦点化

ふりかえりの視点

○今日の学習でどんなことが分かったか。これ
までの自分はどうだったか。これからの生活に
どういかしていくか。



学習内容とこれまでの生き方を比較して考える児童
小学校第5学年「ブランコ乗りとピエロ」（相互理解、寛容）

3 研究の内容 (3) 自己を振り返るための工夫

①振り返る視点の焦点化

ふりかえりの視点

○今日の学習でどんなことが分かったか。
友達の考えを聞いてどんなことを考えたか。

友達の意見を聞いて
自分はどう考えたか
振り返る生徒

友達の意見に「なるほどな」と思いました。
たしかに「生きている」「心がある」というのは
私たち人間だけではないので、自然は大切だと
思いました。

中学校第1学年「木の声を聞く」（自然愛護）

3 研究の内容 (3) 自己を振り返るための工夫

②道徳科の学びと生活（道徳的実践）との結び付け

→認め励ます評価

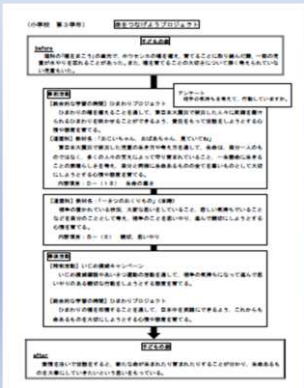
→実践意欲を高める。



3 研究の内容 (4) 学びをいかすための工夫

①道徳学習プログラム

構想図



実践版



自分の生活と
のつながり

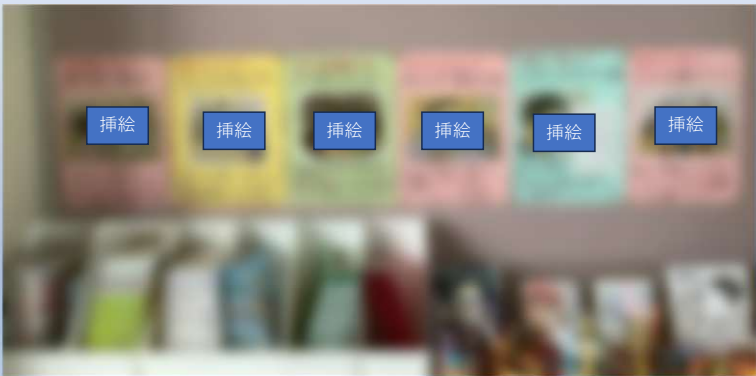
4 成果とこれからの方向性

道徳教育推進拠点事業に係る児童生徒等の意識調査比較(令和5年5月 令和6年5月)

	質問項目	小学生 (%)		中学生 (%)	
		5年度	6年度	5年度	6年度
①	道徳科の勉強は好きだ。	90.9	87.0	83.3	91.2
②	道徳科の勉強はためになると思う。	94.8	98.6	98.1	96.5
③	道徳科の授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている。	84.4	95.7	98.1	100
④	道徳科の授業では、自分のことを振り返りながら考えている。	87.0	98.6	88.9	98.2
⑤	道徳科の授業で勉強したことを、自分の生活にいかしている。	81.8	89.9	81.5	93.0

3 研究の内容 (4) 学びをいかすための工夫

②学習の足あと



4 成果 (○) とこれからの方向性 (◎)

○道徳科の授業の中で、友達の考えを聞いて考えたり、自分を見つめたりしながら、自分の生き方を考えることができるようになってきた。

○道徳学習プログラムを通して、道徳科で学習したことを生活にいかそうとする姿が見られるようになった。

4 成果（○）とこれからの方向性（◎）

◎9年間を見通した、道徳学習プログラムの充実

◎学校だけでなく、保護者や地域と一体となった
道徳教育の推進



『はなしたいわ』シート（広南中学校区『考え、議論する姿』）



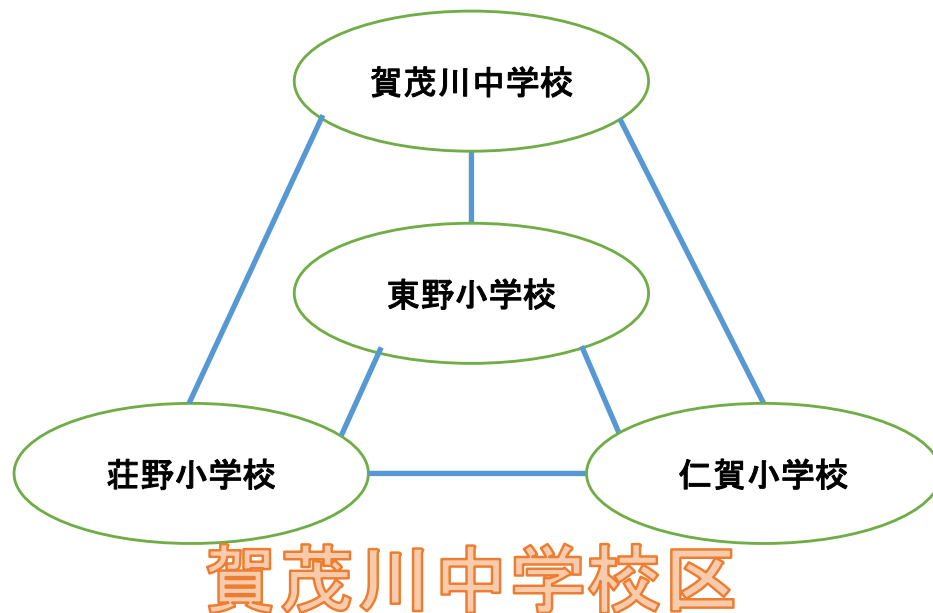
		小1～2	小3～4	小5～6	中7～9
考え議論する姿		自分の考えをもち、理由をつけて伝え合う	自分の考えをもち、友達の考えと比較しながら、自分の考えを伝え合う	自分の考えをもち、交流（対話・議論）することを通して、友達と自分の考えを比較し、自分の考えを見つめ直ししながら伝え合う	自分の考えをもち、交流（対話・議論）することを通して、友達と自分の考えを比較し、自分の考えを見つめ直したり、他者の考えを自分の考えに生かしたりしながら伝え合う
具体的な発言 具体的な反応	基本	わたしは〇〇だと思います。理由は△△だからです。	わたしは〇〇だと思います。理由は△△だからです。	わたしは〇〇だと思います。理由は△△だからです。	わたしは〇〇だと思います。理由は△△だからです。
	賛成	（同じだな）〇〇さんと同じです。	（同じだな）〇〇さんと同じです。理由は△△だからです。	（同じだな）〇〇さんと同じです。理由は△△だからです。	（同じだな）〇〇さんと同じです。理由は△△だからです。
	反対	（ちがうな）〇〇さんとちがいます。	（ちがうな）〇〇さんとちがって、△△だと思います。理由は△△だからです。	（ちがうな）〇〇さんとちがって、△△だと思います。理由は△△だからです。	（ちがうな）〇〇さんとちがって、△△だと思います。理由は△△だからです。
	付けたし	（似ているな）〇〇さんと似ています。	（似ているな）〇〇さんにつけたして、△△だと思います。	（似ているな）〇〇さんにつけたして、△△だと思います。	（似ているな）〇〇さんにつけたして、△△だと思います。
	質問	（どうして）〇〇さん、どうして△△思うのですか。 （よく分からない）〇〇さん、もう一度言ってください。	（どうして）〇〇さんに質問です。どうして△△思うのですか。私は△△と思うのですが。	（どうして）〇〇さんに質問です。どうして△△思うのですか。私は△△と思うのですが。 （他の人は）〇〇さんは、どう思っているのか教えてください。	（どうして）〇〇さんに質問です。どうして△△思うのですか。私は△△と思うのですが。 （他の人は）〇〇さんは、どう思っているのか教えてください。
	見つめる		（なるほど）わたしは△△でしたが、〇〇さんの意見を聞いて、△△と思いました。	（なるほど）わたしは△△でしたが、〇〇さんの意見を聞いて、△△と思いました。	（なるほど）わたしは△△でしたが、〇〇さんの意見を聞いて、△△と思いました。
	深める			（こういうことかな）〇〇さんや◇◇さんの意見から、△△という考えになりました。	（こういうことかな）〇〇さんや◇◇さんの意見から、△△という考えになりました。 （新たな考え）だったら、こういう考えはどうですか。
授業者の関わり方 議論させるための発問		授業者が <u>主導</u> で考えを広げたり深めたりする ・なぜそう思うのですか。 ・〇〇さんの意見を聞いてどう思いますか。 ・〇〇さんや◇◇さんの意見で、同じ（ちがう）ところは、どこでしょう。 ・どの意見に賛成ですか。	授業者の問い返しなどによって考えを広げたり深めたりする ・なぜそう思うのですか。 ・もし、こうなったらどう思いますか。 ・〇〇さんの意見を聞いてどう思いますか。 ・〇〇さんや◇◇さんの意見で、同じ（ちがう）ところは、どこでしょう。 ・どの意見に賛成（反対）ですか。 ・みんなの意見から考えたことや分かったことは何ですか。	児童・生徒の言葉（考え、反応、質問）によって考えを広げたり深めたりする ・なぜそう思うのですか。 ・もし、こうなったらどう思いますか。 ・〇〇さんと◇◇さんの意見を聞いてどう思いますか。 ・〇〇さんや◇◇さんの意見で、同じ（ちがう）ところは、どこでしょう。 ・どの意見について、話し合ってみたいですか。 ・どの意見に賛成（反対）ですか。 ・みんなの意見から考えたことや分かったことは何ですか。	
発言量		授業者の発言			子どもの発言

組織的・計画的に全教師で進める道德教育
「主体的・対話的で深い学び」のある授業



竹原市立賀茂川中学校区
推進リーダー教師 佐藤 喜子

P	I	研究の概要
D	II	研究の実際
C	III	結果と考察
A	IV	今後に向けて



I 研究の概要 II 研究の実際 III 結果と考察 IV 今後に向けて

賀茂川中学校区の実態

よさ

- 特別活動の充実→素直で明るい。
(学級会、体験活動、地域との交流等)
- 与えられたことにまじめに取り組める。

課題

- 自信をもち、相手意識をもって表現する力
- 受け身になりがち
- 「やってもらえるのが当たり前」

研究主題

主体的に学び合う児童生徒の育成

～ 小中9年間を見通した道德教育の充実 ～
～ 道德科と他教科等との関連を通して ～

研究仮説

小中9年間を見通した「考え、議論する道德科」の授業を行い、カリキュラム・マネジメントにより道德教育を充実させれば、道德的諸価値を理解し、自己を見つめ、主体的に学び合おうとする児童生徒の育成を図ることができるであろう。

研究主題

主体的に学び合う児童生徒の育成

～ 小中9年間を見通した道德教育の充実 ～
～ 道德科と他教科等との関連を通して ～

研究内容

- (1) 考え・議論する道德科における指導方法の工夫
- (2) ワークシートや道德ファイルを活用した評価
- (3) カリキュラム・マネジメントによる道德教育の充実
- (4) 豊かな心を育てる環境づくりの工夫
- (5) 各校との連携



発問

学習
形態

重点内容項目

A 自主、自律、自由と責任

B 感謝、思いやり

C 郷土の伝統と文化の尊重、
郷土を愛する態度

発問の工夫

葛藤のない教材の授業づくり 道德研修資料「主題解釈と教材解釈からねらい・発問・板書を考えよう」P1

授業前半は教材から「主題の大切さ」を取り出し、後半は関連のある身近なでき事（他教科や行事とも）につないで自分事にする

本日の内容項目《 》 【A・B・C・D】（○で囲む）

A：主として自分自身に関すること

B：主として人との関わりに関すること

C：主として集団や社会との関わりに関すること

D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

【1】 主題解釈：児童生徒がこの主題を学ぶ意義を捉えよう。

(1) まず「内容項目」について、自分自身の捉えを書き出してみましょう。

主題観を書く時に参照する

		自分なりに考えて（自己理解）	他の先生方と話して（他者理解）
価値理解	① この内容項目の大切さ ※それはなぜ大切なのでしょう		
人間理解（誰にでもある弱さ）	② この内容項目の難しさ ※それを行うことが難しいと感じることはありますか。		
人間理解（弱さを越えてよりよく生きようとする強さ）	③ それでもなおの大切さ ※難しさを越えて大切にしたいのはなぜでしょう。深まった価値理解（新たな学び）		

発問の工夫（主題、教材解釈による指導の意図の明確化）

①節度・節制
この内容項目の
大切さ

②この内容項目の
難しさ

③それでも
なおの大切さ

心情
曲線

生活習慣を確立
→一生涯から
よい生活 高める
→時間を使 方
自分の生活を立て直す

好きなことをしている時
→やらなければならぬ
ことができない
他のこと 疲れている時
優先したい 心
言われると したくない

それでもなおの
大切さ 強さ
→努力できる
周りの人も 悪い気持ち
ちゃんとやると 自分の得意になる
→良い結果が返ってくる
生活を向上させる 豊かになる

心のひもをしめる
（た） （ゆる） （か） （た） → しめる
（お） （理由）

発問の工夫（校内研修での主題解釈）

①感謝
この内容項目の
大切さ

②この内容項目の
難しさ

③それでも
なおの大切さ

感謝
大切さ 難しさ
コミュニケーションの
基本 × 思っている
だけ
伝えた本人も 当たり前
いい気持ち 気づきにくい
お互い助け合い 遠くの感謝
気づくこと 親への感謝
一人でできることは 何もない!! ありがとうは
生活が豊か なる

発問の工夫（実際の授業（補助発問））

第3学年【感謝】
「ぼく知らなかったよ」

学校の用務員さんは、
仕事としてやっているんだから、
お礼を言う必要はないのでは？

みんなのことを思ってくれて
いる

お礼を伝えることで、
自分も相手もいい気持ち（広がる）

③それでも
なおの大切さ

発問の工夫（発達の段階を踏まえる）

低学年 中学年 高学年 中学校

さりげなさ
相手の立場
相手の気持ち
温かさ
相手のこと

発問の工夫（発達の段階を踏まえる）

内容項目：「親切、思いやり」、「思いやり、感謝」
教材名：「バスと赤ちゃん」

（小学校高学年）
相手の立場や状況を考える

（中学校第1学年）
さりげなさ、社会の中での「思いやり」

なぜ、運転手さんは女の人が降りようとするのを止めたの？



他の乗客に配慮し、手前で降りようとしたことに勘付いたから。

「降りること」を伝えた運転手さん、
見方を変えるとどう見える？

運転手さんは、母親のことも、乗客のことも考えていたのかも・・・。



学習形態の工夫



複数体制



複式での学び合い

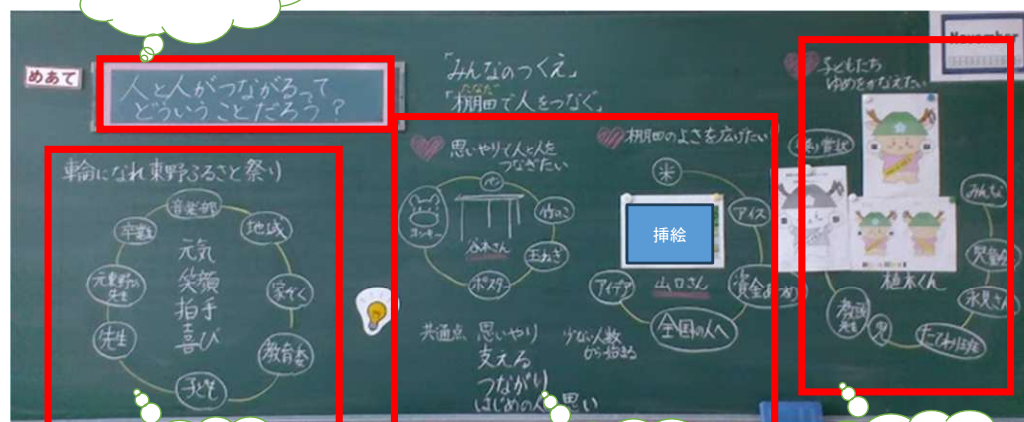


他校とのオンライン

学習形態の工夫

テーマ

複式学級
テーマについて共に話し合う時間の設定



導入

共通点

終末

学習形態の工夫

他校とのオンライン
多面的・多角的に考えを深める
（必然性のあるテーマ設定）



「自分の町のいいところは
どこだろう？」

「小学校の好きなところを
たくさん発見しよう！」



学習形態の工夫

対話を促す場の設定



対話の深まり



主体性の高まり

課題

日常生活に生かされる道徳教育にしていこう。

今後に向けて

A 自主、自律、自由と責任

日常生活に生かされる道徳教育に！

- ☆ 道徳プログラムの充実
- ☆ 重点項目をより意識
- ☆ 家庭や地域とつながる

B 感謝、思いやり

C 郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度

今後に向けて

学んだことを日常生活へ！





道徳 みんなで一歩！

自己の生き方を追求する道徳教育の創造

大柿中学校区
道徳教育推進リーダー教師
井口 誠文



実践発表

- 1. はじめに（研究主題設定の背景）
- 2. 研究の概要
- 3. 今後に向けて

1. はじめに（研究主題設定の背景）

大柿中学校区の児童生徒の良さ・課題

- 良さ
- 1 小学校、1 中学校で1 クラスのためアットホーム
 - 素直で優しい児童生徒が多い。
 - 学習や部活動に一生懸命に取り組むことができる。
- 課題
- 人間関係が変わらず固定化されている。
 - 自分の思いを伝えたり、課題解決する力が乏しい。
 - 卒業後の新たな人間関係の構築や環境の変化への対応が難しい。

1. はじめに（研究主題設定の背景）

大柿中学校区で育てたい資質・能力

	大古小学校	大柿中学校
学校教育 目標	ふるさとを愛し、未来を創る 児童の育成 ～自分をつくるのは自分～	「誠」を校訓として、人間性 豊かな、たくましい生徒の育成に つとめる ～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～
育てたい 資質・能力	協働する力 学びに向かう力	「課題発見・解決力」 「レジリエンス（心の回復力）」 「協調性」 「高い志」

重点内容項目

- A 主として自分自身に関すること
【希望と勇気、克己（努力）と強い意志】
- B 主として人との関わりに関すること
【思いやり、感謝（親切）】

2. 研究の概要

研究主題

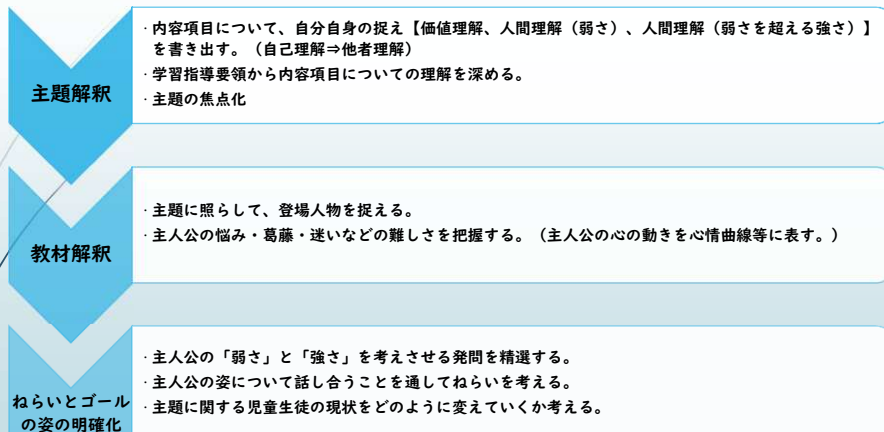
「自己の生き方を追求する道徳教育の創造」
～小中9年間を見通したレジリエンスを育成する学習活動を通して～

(1) 主体的に学び、協働する授業づくりの工夫

(2) 小中9年間で、一貫した道徳教育推進体制の確立

2. 研究の概要 (1) 主体的に学び、協働する授業づくりの工夫

①主題・教材解釈シートの活用 (指導の意図の明確化に向けて)



2. 研究の概要 (1) 主体的に学び、協働する授業づくりの工夫

発達段階に応じた指導の工夫 (ねらいの明確化)

A主として自分自身に関すること
【希望と勇気、克己（努力）と強い意志】

小学校 低学年
自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。

「頑張った喜び」

小学校 中学年
自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。

「もっとよくなりたい」

小学校 高学年
より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。

「目標に向かって確かな一歩」

中学校
より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

「自分の弱さに打ち克つ」

小中9年間の系統性を意識

道徳科
「深い学び」のための
内容項目ハンドブック

2. 研究の概要 (1) 主体的に学び、協働する授業づくりの工夫

		自分なりに考えて (自己理解)	他の先生方と話し (他者理解)
価値理解	① この内容項目の大切さ ※それはなぜ大切なのでしょう		
人間理解 (誰にでもある弱さ)	② この内容項目の難しさ ※どんな時、それを行うことが難しいと感じるでしょう。		
人間理解 (弱さを越えてよりよく生きようとする強さ)	③ それでもなおの大切さ ※難しさを越えて大切にしたいのはなぜでしょう。深まった価値理解 (新たな学び)		

授業を行う上での要

2. 研究の概要 (1) 主体的に学び、協働する授業づくりの工夫

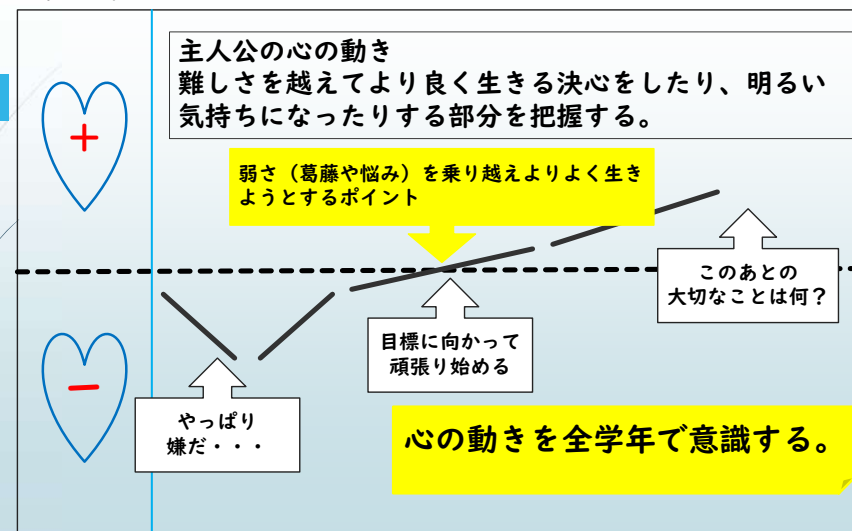
主 題 名：目標に向かって頑張る。(小学校第3学年)
 内容項目：希望と勇気、努力と強い意志
 教 材 名：うまくなりたけれど

主題解釈

		自分なりに考えて(自己理解)	他の先生方と話して(他者理解)
価値理解	①この内容項目の 大切さ ※それはなぜ大切な のでしょうか。	・成長 ・自己実現 ・もっとよくなりたい	・なりたい姿に近づく ・自己実現の肝 ・困難でも達成する喜び ・弱さの克服
人間理解 (誰にでもある弱さ)	②この内容項目の 難しさ ※どんな時、それを行 なうことが難しいと 感じるでしょう。	・うまくいかなかった時 ・現実を知った時 ・他の誘惑	・疲労感 ・具体的なイメージが持てない ・先行き不安 ・目標の意義が感じられない
人間理解 (弱さを乗り越えて よりよく生きようとする 強さ)	③ それでもなおの 大切さ ※難しさを乗り越えて大 切にしたいのはなぜ でしょう。 深まった価値観 (新たな気づき)	・自己理解 ・逃避できない ・自信	・大きな成長→自信→飛躍 ・夢の実現 ・楽しく生きる ・人としての強さ ・達成感

2. 研究の概要 (1) 主体的に学び、協働する授業づくりの工夫

教材解釈



2. 研究の概要 (1) 主体的に学び、協働する授業づくりの工夫

主人公の心の動き
 難しさを乗り越えてより良く生きる決心したり、明るい気持ちになったりする部分を把握する。

弱さ(葛藤や悩み)を乗り越えよりよく生きようとするポイント

このあとの大切なことは何?

目標に向かって頑張る始める

やっぱり嫌だ...

心の動きを全学年で意識する。

中心発問
 補助発問
 繰り返し発問

2. 研究の概要 (1) 主体的に学び、協働する授業づくりの工夫

②導入、板書の工夫

主題名の明示
 ⇒授業の焦点化

めあて(児童生徒の発言の活用)の明示
 ⇒主体的な学び、学びの深まりを自覚させる。

「うまくなりたけれど」

「決めたことをやりぬく」どうして大切? 何が必要?

「月分ちり返ろう」

絵をかこう! ... 下へ下へ

工作(ぎょうざ) ... めんどう

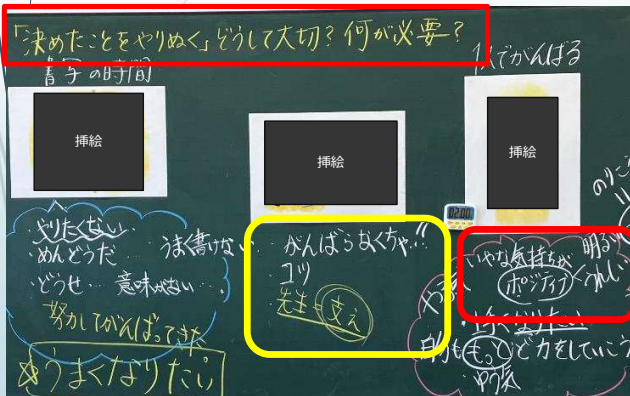
野球のキャッチボール

導入の工夫
 ⇒ねらい等に沿っためあてへ

2. 研究の概要 (1) 主体的に学び、協働する授業づくりの工夫

③ 繰り返し発問の工夫

主 題 名：目標に向かって頑張る（小学校第3学年）
 内容項目：希望と勇気、努力と強い意志
 教 材 名：うまくなりたけれど



やりぬくために必要なこと
 → 周りの人の支え、感謝
 → （自分で目標を決める）

先生のためだけに頑張ったのかな？

やりぬくことの良さ
 → 気持ちが明るくなる。
 → 自分の目標に近づく。

2. 研究の概要 (1) 主体的に学び、協働する授業づくりの工夫

④ 考えを深める場の工夫



2. 研究の概要 (2) 小中9年間で、一貫した道徳教育推進体制の確立

組織的・計画的に全教師で進める道徳教育において（全体研修）

理論研修

（授業づくり、レジリエンス）

大柿中学校区
 全教職員
 年間6回実施

校区全教職員で
 共通認識

指導案検討

学年⇄所属校⇄校区

研究授業 事後協議

2. 研究の概要 (2) 小中9年間で、一貫した道徳教育推進体制の確立

組織的・計画的に全教師で進める道徳教育において（授業連携）

○授業打合せ（30分～1時間程度）



主題解釈シート等を活用した授業づくり

	自分なりに考えて（自己理解）	他の先生方と話し（他者理解）
全体理解	① この内容項目の要約を ※それはなぜ大切なのですか	
人間理解（誰にでもある良さ）	② この内容項目の要約を ※どんな時、それを行うことが 難しいと感じるでしょうか	
人間理解（誰にでもある良さ）	③ この内容項目の要約を ※誰しききかえて たいのはなぜでしょうか	
人間理解（誰にでもある良さ）	④ この内容項目の要約を ※誰しききかえて たいのはなぜでしょうか	

授業を行う上での要

重点的に打ち合わせ
 ・書き出す。
 ・線を引く。

2. 研究の概要（2）小中9年間で、一貫した道徳教育推進体制の確立 組織的・計画的に全教師で進める道徳教育において（授業連携）

○授業実施後の振り返り



授業振り返りシートの活用

1. 授業	2. 振り返り
① 授業の振り返り ② 授業の振り返り ③ 授業の振り返り ④ 授業の振り返り ⑤ 授業の振り返り ⑥ 授業の振り返り ⑦ 授業の振り返り ⑧ 授業の振り返り ⑨ 授業の振り返り ⑩ 授業の振り返り ⑪ 授業の振り返り ⑫ 授業の振り返り ⑬ 授業の振り返り ⑭ 授業の振り返り ⑮ 授業の振り返り ⑯ 授業の振り返り ⑰ 授業の振り返り ⑱ 授業の振り返り ⑲ 授業の振り返り ⑳ 授業の振り返り ㉑ 授業の振り返り ㉒ 授業の振り返り ㉓ 授業の振り返り ㉔ 授業の振り返り ㉕ 授業の振り返り ㉖ 授業の振り返り ㉗ 授業の振り返り ㉘ 授業の振り返り ㉙ 授業の振り返り ㉚ 授業の振り返り ㉛ 授業の振り返り ㉜ 授業の振り返り ㉝ 授業の振り返り ㉞ 授業の振り返り ㉟ 授業の振り返り ㊱ 授業の振り返り ㊲ 授業の振り返り ㊳ 授業の振り返り ㊴ 授業の振り返り ㊵ 授業の振り返り ㊶ 授業の振り返り ㊷ 授業の振り返り ㊸ 授業の振り返り ㊹ 授業の振り返り ㊺ 授業の振り返り ㊻ 授業の振り返り ㊼ 授業の振り返り ㊽ 授業の振り返り ㊾ 授業の振り返り ㊿ 授業の振り返り	① 授業の振り返り ② 授業の振り返り ③ 授業の振り返り ④ 授業の振り返り ⑤ 授業の振り返り ⑥ 授業の振り返り ⑦ 授業の振り返り ⑧ 授業の振り返り ⑨ 授業の振り返り ⑩ 授業の振り返り ⑪ 授業の振り返り ⑫ 授業の振り返り ⑬ 授業の振り返り ⑭ 授業の振り返り ⑮ 授業の振り返り ⑯ 授業の振り返り ⑰ 授業の振り返り ⑱ 授業の振り返り ⑲ 授業の振り返り ⑳ 授業の振り返り ㉑ 授業の振り返り ㉒ 授業の振り返り ㉓ 授業の振り返り ㉔ 授業の振り返り ㉕ 授業の振り返り ㉖ 授業の振り返り ㉗ 授業の振り返り ㉘ 授業の振り返り ㉙ 授業の振り返り ㉚ 授業の振り返り ㉛ 授業の振り返り ㉜ 授業の振り返り ㉝ 授業の振り返り ㉞ 授業の振り返り ㉟ 授業の振り返り ㊱ 授業の振り返り ㊲ 授業の振り返り ㊳ 授業の振り返り ㊴ 授業の振り返り ㊵ 授業の振り返り ㊶ 授業の振り返り ㊷ 授業の振り返り ㊸ 授業の振り返り ㊹ 授業の振り返り ㊺ 授業の振り返り ㊻ 授業の振り返り ㊼ 授業の振り返り ㊽ 授業の振り返り ㊾ 授業の振り返り ㊿ 授業の振り返り

【振り返りの視点（短時間で）】

- ・ 中心発問、切り返し発問が、主題、めあてに迫っていたか。
- ・ 導入や終末の工夫で、自己の生き方について考えを深められたか。
- ・ 日常生活に生かされるように、これからどのような指導を意識するか。

2. 研究の概要（2）小中9年間で、一貫した道徳教育推進体制の確立 組織的・計画的に全教師で進める道徳教育において（授業連携）

○授業打合せ（30分～1時間程度）



主題解釈シート等を活用した授業づくり

授業後の振り返り

○授業（T1、T2体制）



Google Classroom、Google Chat等の活用

実践の蓄積

何時でも活用

何時でも活用

2. 研究の概要（2）小中9年間で、一貫した道徳教育推進体制の確立 組織的・計画的に全教師で進める道徳教育において（授業連携）

○授業実践の整理、蓄積（Google Classroom、Google Chat等の活用）

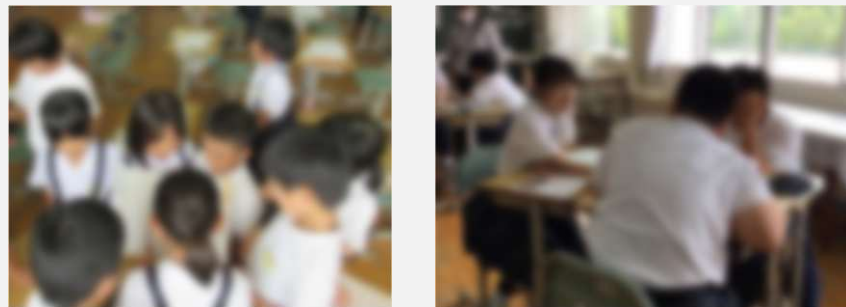
実践の蓄積、整理→系統性の把握、実践の積み上げ



3. 今後に向けて

- 授業づくりの深化
（主題・教材解釈シートの活用の充実など）
- 組織的・計画的な道徳教育推進体制の充実
- 目指す児童生徒の実現（自己有用感を高める等）
に向けてのカリキュラム・マネジメント
- 振り返りの更なる工夫

道徳科における 主体的・対話的で深い学びの実現



世羅町立世羅西中学校区
道徳教育推進リーダー 重森 恵美子

- 1 世羅西中学校区の特徴と実態
- 2 研究主題（目指す授業の姿）
- 3 具体的な取り組み
- 4 成果と課題
- 5 今後に向けて

世羅西中学校区の特徴と実態



中学校生徒会による
学びの7か条（学びのルール）講習会

せらにし学びの7か条

せらにし小学校 学びの7か条

せらにし小学校 児童会

- 1 授業でのあいさつを大切にします。
- 2 姿勢を正しくします。
- 3 大きい声で返事をします。
- 4 話し手の方を向いて話を聞きます。
- 5 ひじをのばしてしっかりと手をあげます。
- 6 忘れ物は、前もって自分から伝えます。
- 7 次の授業の準備をしてから休けいします。

世羅西中学校区の特徴と実態

児童生徒意識調査結果より（肯定的評価の割合）（％）

	令和5年5月	令和5年12月	令和6年5月
道徳科の授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている。	89	96	96
道徳の授業を通して、新しい価値に気づくことができている。	—	—	60
道徳科の授業では、自分のことを振り返りながら考えている。	90	96	97

研究主題と仮説

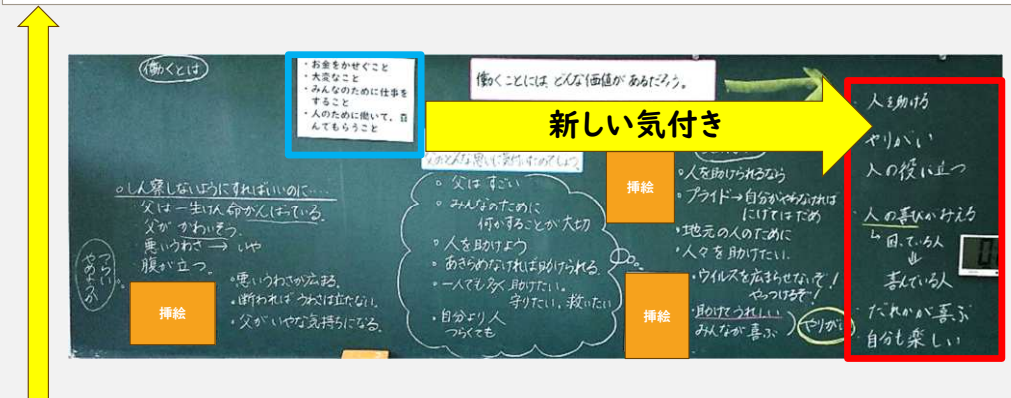
研究主題

考える授業を創造し、児童生徒の主体性、表現力を高める

～道徳科における「対話」の充実を通して～

目指す授業の姿（深い学び）

児童が新しい価値に気づくことができる授業づくり（対話を通して）



×児童生徒が望ましいと思われるわかりきったことを言わせたり書かせたりする授業

具体的な取り組み

取組内容

道徳科における主体的・対話的で深い学びの実現

(1) 対話を促すための工夫

(2) 振り返りの充実

具体的な取り組み

取組内容

道徳科における主体的・対話的で深い学びの実現

(1) 対話を促すための工夫

- ①指導の意図の明確化（主題、教材、発達の段階の分析）
- ②道徳科の特質を生かした指導の工夫
- ③児童生徒の考えの可視化（ICTの活用等）
- ④学習形態の工夫
- ⑤話し合いのポイントの共有

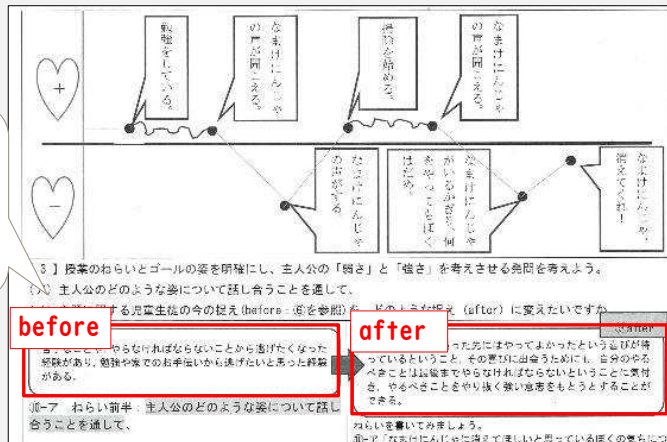
具体的な取り組み

(1) 対話を促すための工夫

①指導の意図の明確化(主題、教材、発達の段階の分析)

教材分析シート (一部抜粋)

授業前(before)と授業後(after)の児童生徒の姿や価値観の明確化



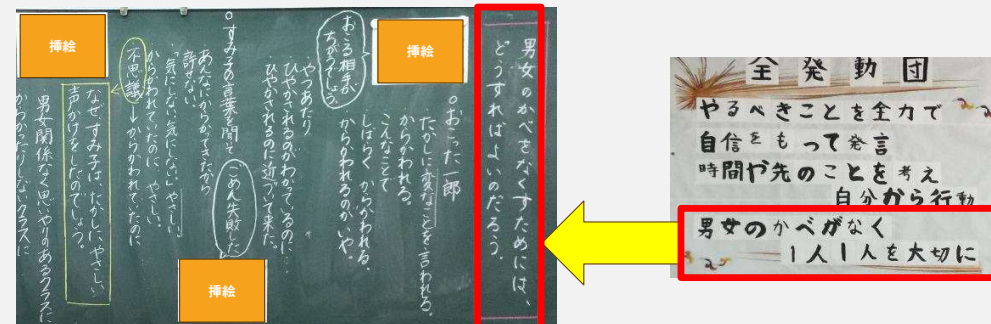
主題解釈と教材解釈からねらい・発問を考えよう(広島大学大学院宮里智恵先生作)

具体的な取り組み

(1) 対話を促すための工夫

②道徳科の特質を生かした指導の工夫

問題解決的な学習(課題意識を持たせる、テーマ発問を用いた切り返し)



具体的な取り組み

(1) 対話を促すための工夫

②道徳科の特質を生かした指導の工夫

道徳的行為に関する体験的な学習



役割演技・動作化の後に話し合うこと

「演じた児童生徒」

- ・演じてみてどんなことを感じたか
- ・どんな気持ちで演じたか など



「見ていた児童生徒」

- ・演じている人はどんなことを感じていると思うか
- ・演じている人はどんな考えて演じたか など

具体的な取り組み

(1) 対話を促すための工夫

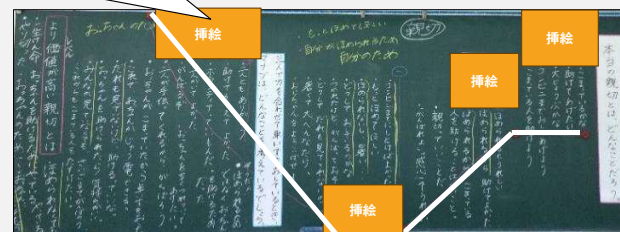
③児童生徒の考えの可視化(ICTの活用等)

板書による考えの共有

B 親切、思いやり

相手に対する思いやりの気持ちの変化を心情曲線で表す。

「4年 ええことするのは、ええもんや!」



相手に対する思いやりの大きさや、それを受けた人の気持ちの温かさをハートの大きさに表す。
「2年 くりの実」

具体的な取り組み

(1) 対話を促すための工夫

③ 児童生徒の考えの可視化 (ICTの活用等)

ICT機器を活用した考えの共有



ハートメーターやCanvaによる意思表示→対話の活性化

具体的な取り組み

(1) 対話を促すための工夫

③ 児童生徒の考えの可視化 (ICTの活用等)



学習テーマ
「真の友情」を育むために、大切な気持ちは何だろう。

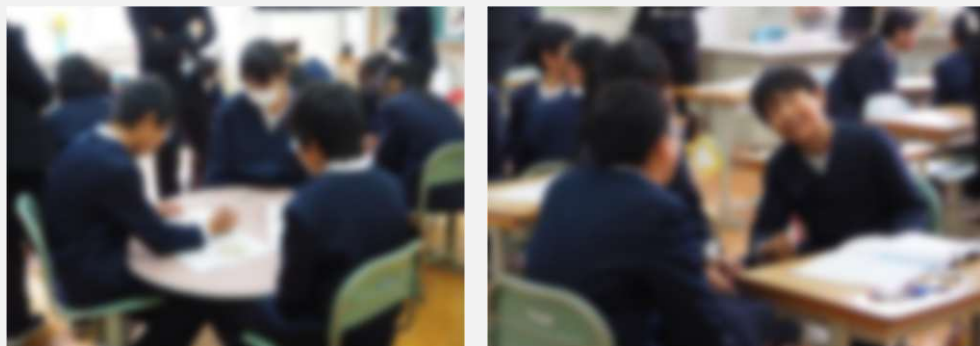
テキストマイニング

→少数意見を生かす、考えの変容、対話の意欲の向上

具体的な取り組み

(1) 対話を促すための工夫

④ 学習形態の工夫 (場の設定、距離感、本音で言い合える環境づくり)

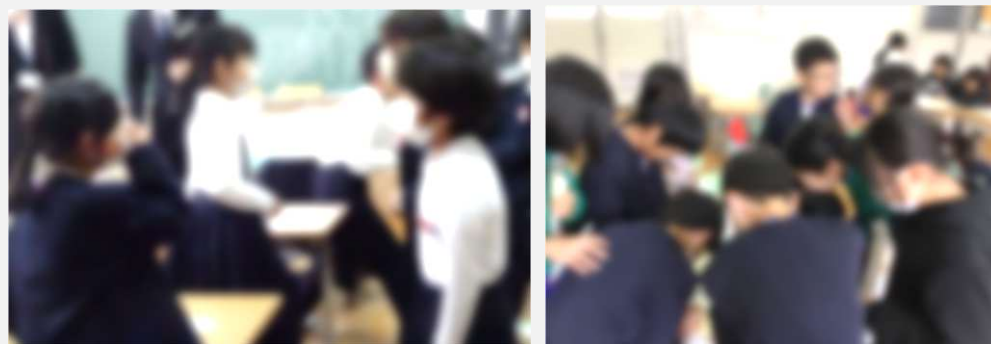


グループディスカッション (発問の精選、話し合う時間の確保)
→自分の意見と比べながら聞き、受け止め、自分の考えを話す。

具体的な取り組み

(1) 対話を促すための工夫

④ 学習形態の工夫 (場の設定、距離感、本音で言い合える環境づくり)



ペアトーク (相手を変えながら)
→考えを広げる。

フリートーク (似た意見や違う意見)
→考えを広げ、深める。

具体的な取り組み

(1) 対話を促すための工夫

④学習形態の工夫(場の設定、距離感、本音で言い合える環境づくり)



生徒による話し合いのファシリテート
→本音で話せる授業づくりへ

具体的な取り組み

(1) 対話を促すための工夫

⑤話し合いのポイントの共有



今の考えはどういうことか
その考えについて聞きたいんだけど、
その考えについて、〇〇さん
はどう思いますか。

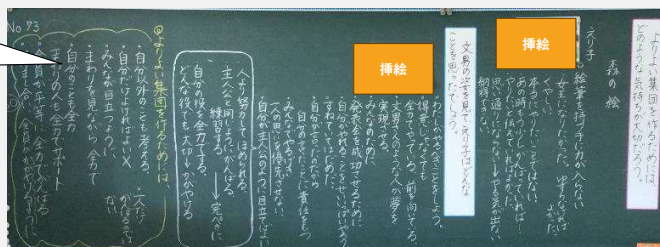
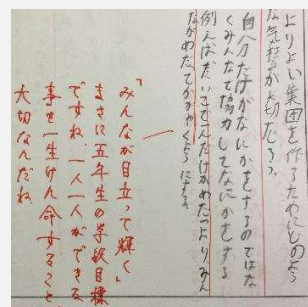


具体的な取り組み

(2) 振り返りの充実

「自分の成長やよさ」に気づかせることのできる 振り返りの充実

新しく獲得した価値で、
自分の生活を振り返る。



成果と課題

<研究結果の検証>

児童生徒意識調査結果より(肯定的評価の割合)

	R5. 5月	R5. 12月	R6. 5月	(%) R6. 12月
道徳科の授業では、友達と話し合うなどして、 自分の考えを深めたり、広げたりしている。	89	96	96	96 →
道徳の授業を通して、新しい価値に気づく ことができている。	—	—	60	99 ↗
道徳科の授業では、自分のことを振り返りな がら考えている。	90	96	97	99 ↗

成果と課題

- 児童生徒による主体的な学びの実現
- 必然性のある課題設定、体験的な学習、ICT機器の活用等による対話のある深い学びの授業づくり
- 自己を見つめる振り返りの充実

今後に向けて

対話の充実による深い学びの実現



新しい価値、見方・考え方の獲得
学校教育全体への広がり

・ 友達の考えを聞いてみたいという児童が増え、しっかり話を聞けるようになった。

・ 相手の考えを受け止め、自分の考えと比較して考えようとする姿が増えた。

児童生徒のプラスの変容

・ 相手のことを考えて行動したり、前向きに考え、行動に結びつけたりできるようになった。

・ 自分の行動を振り返ったり、新たな目標をもったりすることができ始めた。



ご清聴ありがとうございました。

